

令和7年9月26日

産業厚生委員会

阿久根市議会

- 1 会議名 産業厚生委員会
- 2 日時
 - (1) 期日 令和7年9月26日(金)
 - (2) 開会 午前10時2分
 - (3) 散会 午前10時55分
- 3 場所 第1委員会室
- 4 出席委員
高崎良二 委員長
川畑二美 副委員長
渡辺久治 委員
竹原信一 委員
仮屋園一徳 委員
山田勝 委員
濱田洋一 委員
- 5 欠席委員
なし
- 6 職務のため出席した議会事務局職員
松林俊介 議事係主査
- 7 会議に付した事件
所管事務調査について
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

◎ 所管事務調査について

高崎良二委員長

ただいまから産業厚生委員会を開会いたします。

先日、所管事務調査事項として、観光行政のうち脇本海岸についての所管課に出席していただき、本市の現状説明を受け、質問を行い、各委員に感想を述べていただきました。

そのあと何を課題として調査を進めていくかが、整理することについて、委員長に御一任いただきましたので、ここで報告いたします。

一つ目に、観光に適した道路。二つ目に、観光農園を中心とした商業。三つ目に、地域が一体となった観光。四つ目に、観光客を増やすための仕組み。以上の4点にまとめました。

これで整理した課題について、これを解決するためにはどのような政策の展開や事務事業が必要か先進事例を視察するなど、調査を進めていこうと思っております。

以上が課題であるとして、調査を進めたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

〔竹原信一委員「異議あり」と呼ぶ〕

異議あり。

〔発言する者あり〕

ただいま、異議ありという声があります。

〔発言する者あり〕

暫時休憩入ります。

（休憩 午前10時4分～午前10時8分）

高崎良二委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

ただいま説明いたしました4項目について、これで調査を進めていいか、よくないかということをご諮りたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔竹原信一委員「これについて今から議論するんでしょ」と呼ぶ〕

一応この項目を決めて、こっから話が始まる場所です。

よろしいですか。

御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

次に、ただいま整理した課題解決のためにどのような調査を行うか協議をお願いします。

それでは、御提案などありましたら御発言をお願いいたします。

濱田洋一委員

先ほど休憩を挟んだ中で、竹原議員のほうから、やはり観光行政を整えていくといいですか、今後に向けて行っていくには、やはり議会、行政、それと地域住民の方々が一体となってですね、やはりこの阿久根市の一つの観光資源である脇本海岸については取り組むべきだとお話がありましたけれども、私もそのように考えております。

そういった中におきまして、例えば先進地等の行政と議会を含め、それと地域の方々がどういった取組をされて、そこの観光地が集客といいますか、人を呼べる状況にあるのかというのを、やはり学んでくるべきじゃないのかなあという感じがいたします。

そういった中で、私どもの脇本海岸に落とした中でこういうふうに進めていこうということで、この三位一体といいますか、議会、行政、それから地域の住民の、市民の方々とということで取組を進めていければ大変ありがたいかなあというふうに私は思っております。

竹原信一委員

阿久根市が先進地にならないかんわけですよ。そして、行政と一体になること、もう始めなきゃいけないんですよ。実際、担当課は検討をもう始めてるはずですけども。そして、どうするかは、現場があつてのどうするかになるわけです。何度も行って、自分たちで例えば遊歩道の話ですよ。遊歩道を造るのは、実は、くわやらスコップでできていけるんです。私もちょっとやってみましたけど。自分たちで汗かいて、そしてここを通りにする。気持ちいいよね。段差を削るだけで車椅子も走れるよね。そういった動きの中から次の手を打っていくということが本物の働きであります。それに取り組むべきであつて、ほかのところへ見に行く必要はないです。

〔発言する者あり〕

高崎良二委員長

ちょっと待ってください。

もう終わり。

〔発言する者あり〕

仮屋園一徳委員

せつかくですよ。今まで下村海岸、脇本海岸に現地に行って、そして帰ってきて、担当課を呼んでいろんな問題点があるということをお話して、ここに4項目についてまとめたわけですので、いろんな、脇本海岸についてはこういった問題があるよという問題をば出したわけですので、それについて、どういった解決策をして今後いくのかというのを、話していったほうがいいのかと思う。抽象的な阿久根の観光どうこうじゃなくてですね。せつかく、今まで2回、3回積み重ねてきたわけですので、この問題をどのようにしたら、今後、解決していくのか、その一環として、今、委員が言われたような意見が出てくれば、それはそれでいいと私は思います。

川畑二美委員

私も同じで、皆さんの意見とちょっと同じなんですけど、やはり、地域住民が一体となって、やっぱり先進市や行政を見て、地域の方がどのように取り組んで、学んでその地域を活性化したっていうのは、やっぱり見てこないと、実際に、百見は一見にあれじゃないですけど、実際見てきて、それを阿久根市に、やっぱり行政に働きかけていって、住民の人と話し合いをして変わっていくということで、やはり、先進地を見ていくのは必要かと私は思います。

山田勝委員

私は竹原委員のね、出してるロゴチャットののこるを見てみるんだけど、なるほどいいことをよく書いてありますよ。でも全体として、そのように議員がこれにこいが全部よかかって、私はもうこれ、これには同調できない部分もたくさんあります。ただ、議会として、あるいは議会がすべきもの、あるいは執行部がすべきもの、いろいろあると思いますよ。

だから、そういう中で、やはり私はね、阿久根全体の観光を考えないかん時期に来てますねって、竹原議員がこの前大島も、これも大変だなと思ってますよ。そういうものをせないかんどん、取りあえずは、今は脇本海岸の話をば集中してやらないかんというところにあるので、僕が思ってるのはですね、どれもこれも阿久根の観光は、商工観光課ががんです。あそこが優柔不断なことをやってるからこんなにもめてます。どれも。

竹原信一委員

観光課ががんで言われても、職員が人事異動で変わっていくことなんですよ。

本会議で説明あったとおり、いつからいつまで、前回塗装やらなんやらしたのか、知らないとかいう話がありましたけども、組織の体質としてそれが伝えられてないんですよ。

これはもう全体の病理だと思いますけれども。課じゃないんです、全体なんです、この体制は、課を叩けば治るといような代物じゃないんです。

〔発言する者あり〕

待ってください。

実際、職員はどうすればいいかも知らないんですよ。

住民は、実際ごみ拾いなんかをしてですよ、きれいにするにはどうしたらいいかという、いろいろ考えてやっています。ねえ。それに市役所職員は参加はしていない。言われて初めて、どうすりゃいいかなみたいな感じで、私たちもまず参加すべきなんですよ。ねえ。

そして、行動の下で、そして、何だっけ防波堤の砂が山盛りなってどうにかならんかって言ってなかなか動いてくれなかった。私は一生懸命、すぐ機械を入れてすぐやりましたよ。ねえ。

現場の、見て、一緒に仕事をするするとすぐ分かるし、役所が動けばすぐできるんですよ。自分たちでやってないから動けない。分からない。

阿久根大島の件もそうですよ。やらないから分からないんです。やるどころからでないといけないし、いつでもできますよ。参加していきましょうよ。一緒にやろうと、やる気になってるんだから。一緒に動いて、遊歩道ちょっと造ろうかぐらいの話をね、簡単にできますよ。

そこからでないよ、どうしてもですね、どっか靴の上から足かくみたいな感じで、本物にならないんですよ。

濱田洋一委員

今、話があったように、松林がある中で遊歩道整備というのは、一つ、私もいいのかなあというふうに思いますが、ただ、我々議員、極端に言えば議員だけでとか、行政だけでということでは、ちょっと、いろんな市内、県外の観光客の方が来られる場合に、安全性という意味では、やはり専門の事業者の方にやっぱりやってもらわないかん部分もあるかと思えます。

それ以外でできる部分は、議会を含めた行政でもやれる部分はやっていってもいいのかなというふうには思いますが、全てにおいて、我がたがせないかんどつというの

はまたちょっと違うことかなと思います。

それは、やっぱり人を来ていただくためには、やはりこの、まず第一に安全確保ということをした中において、やはりこの景観であったり、脇本海岸を、いわゆる楽しんでいただく、心の癒やしをですね、いただいて帰っていただくと、やはりそういう面からすると、それぞれの役割というのが出てくるのかなあというふうに思います。

仮屋園一徳委員

今さっき遊歩道の話が出ましたけど、遊歩道にしてもですね、今、やっとなんか松がある程度大きくなった部分があるので遊歩道という話もできますけど、15年、20年前は遊歩道のゆの字も話ができないぐらい荒れ放題の、ちっちゃな雑木みたいなだけが生えた防風林だったんですよね。

だから、そう、今やっとなんかその辺を語られるところまで来た。そして、今、水道にしても全くなかったのが、議員の努力によって、ある程度水道もひけるようになった。

やっとなんか少しずつ何かが始まってきてるんだけど、まだまだ足りないのがいっぱいあるので、この、今4つの問題が出てきたわけですので、これを解決するために、批判するのはいつでもできるけど、解決するためにはどうしたらいいのか。もちろん観光課にも協力してもらわないとできる話じゃないと。

それを強力にお願いするためには、やっぱりこうしたほうがいいよ、ああしたほうがいいよという提案は、やっぱりしていかないと一つも前には進まないと思いますので、一つ一つの件について、この件についてはこうしたほうがいい。やっとなんかそこに観光農園という協力というかあそこでしてみようという人たちも、今、やっとなんか出てきたので、その人たちにも、私たちとして何らかの加勢ができないのかを話していくのが、勉強していくのが私たちのこの委員会ではないかなと思いますので、そういった感じで提案してもらえば、今、委員の言われる、もうすごくいい部分もありますので、そういったものを生かしながら、ただ一方からだけではなくて、いろんな面からしていったほうが1番いいのかなと思います。

山田勝委員

私は、なるほど竹原議員の提案はね、非常に理想的ですよ。でもねえ、よう考えて、私も初めてこう見るんですがね、やはり議員の役割、執行部の役割、それぞれの役割がありますよね。議員の役割は一緒になって現場ですということじゃなくて、やはりね、いろんなものを検討しながら、議員としての立場で協力をする。執行部は執行部でそれを予算を持って進めていく。事業者は事業者でちゃんとやっていく。それぞれないとね、一時できないですよ。

竹原信一委員

議員も職員も、そして地域住民も一緒に成長していくということが必要なんですよ。

そして、現状のこと、現場のことを同じように一緒に理解して初めて適正なことが分かるわけで、知らずにおって上からものを言うがというような、今までのようなね、考え方じゃいかんわけですよ。ね。

それぞれに役割があるんじゃないかと、最初言ったように一緒にやっていきましょう。

〔発言する者あり〕

一緒に感覚を共有できる状態にまで一緒に成長しなきゃいけない。その必要性を強く感じております。

川畑二美委員

今の竹原議員の発言に対して、私、一緒にやるんだったら、やはりいろんなところを見て、一緒に考えて、提言していったら、私はいいと思います。

先ほど言われた議員の役割、市の行政の役割、業者のやり方っていろんなありますから、やはり一緒になって考えて、こういうところはこういう、あるよっていうのはやっぱり市民に話をしたり、行政に話をするっていうのは、やっぱり議員の役割だと思うんです。現場だけをただ見て、現場をやるっていうのも大事ですけど、やはり提言して話をするというのは私たちの役割だと思います。

それを市民に知らせるというのも、私たちの役割だと思います。と私は思います。

高崎良二委員長

すいません、ちょっと暫時休憩入ります。

(休憩 午前10時24分～午前10時44分)

高崎良二委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

それでは、この調査方法について、もう1回皆さんの御意見があればお聞かせください。

川畑二美委員

今、皆さんのお話を聞いて、やはり先進地を見て、行政にお話をして、地域の住民に話をするというのは大事なことで、議員がやっぱり学んで、学ぶという言葉が嫌いだと言われたので、視察でこういうところを取り入れたらいいんじゃないかっていうのを視察するのは大事だと思います。そして、調査をして、行政のほうとも話を聞いてくることは大事だと思います。どのような予算がついて、どっから予算をもらってきてるのか、その辺の調査もやっぱり直接行かないと教えてもらえないこともあるかと思いますが、ぜひ調査をしていただきたいと思います。

濱田洋一委員

先ほども話をしましたけれども、委員長がまとめていただいたこの4項目のことにつきまして、やはり先進地の研修というのは、やはりその現地に行って、話をお聞きして、そして、それぞれの委員の方が得るものがあると思います。それを持ち帰ってきた中で、どういった政策提言といいますか、脇本海岸における観光行政についてどういった取組がいいだろうかということで、やはり議論を重ねて、形づくっていければ1番いいのかなあというふうに思いますので、私はそういった先進地というところに調査に行ってみたいなというのは考えております。

仮屋園一徳委員

私も今の意見と一緒にですけど、4項目を中心にした問題をもって、先ほど糸島という話がありますけど、糸島を含めて、もうちょっとあと一つぐらい、近いところ、沿線にあれば2か所ぐらい、見れたら1番いいのかなと思います。

ぜひ行きたいと思います。

高崎良二委員長

ほかに何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

今、先進地視察をするということで、できれば糸島という声もありますが、まず、視察に行くか行かないかを。

行くことに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

〔竹原信一委員「異議あり」と呼ぶ〕

異議ありとの声がありましたが、じゃあ、もう決をとっていきましようか。

先進地視察に行くことに対しまして、賛成の方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

挙手多数ということで、視察に行くという方向で進めたいと思います。

続きまして、視察先について、今、糸島という声もありましたが、ほかに何かありますか。

濱田洋一委員

糸島の海水浴場といいますか、海岸がどういったところなのかというのは私も具体的に知りませんが、先ほど、ほかの委員の方からもありますとおり、松林等を有効活用を図るために遊歩道の整備も必要ではないのかなという御意見もありまして、私もそういうふうを考えております。

そうした中で、遊歩道を設置してある公園を含めてというか、そういったところがあれば、またそれも加えた中でいいのかなというふうに思いますけれども。

川畑二美委員

それに、私は一つ、観光農園もやってらっしゃるところがあったら、ぜひそういうのも一つ入れていただけたら。阿久根の場合はイチゴと、今、トウモロコシでやってらっしゃるっていうんですけど、ほかのところはどういうところのやっぱり観光農園をやってらっしゃるのかなっていうのを、また、お聞きしたいなと思っております。

竹原信一委員

鹿児島県の研修会の際に提案していただいた自然環境へのインパクトを最小化への7原則というので、山の歩き方も事前準備をしっかりしなきゃいけない。そして、ねえ、自然を破壊しないような、観光の在り方というのを学ぶと、そういったことも提案がありました。そういったところをやってるところを探してですね、行くのはいいことかもしれない。

山田勝委員

私はここに書いてあるですね、観光地に適したどんな道路なのか、どんな道路整備してるのか。あるいは、仮に観光農園があるとしたらどういうのをやってるのか。あるいは、地域がどんな形で地域が一体となっているのか。ここにですね、観光客を増やすための仕組みはどうなってるのか。

私はやっぱりこれはせつかくこの四つについてはね、非常にいいテーマだと思うんですよ。

こんな気持ちでね、例えば糸島を見る。ほかのどっかを見る。それでもすごいことだと思ってるんです。やっぱりねえ、どっかと見比べてみな分かんるとよ。

高崎良二委員長

ただいまいろんな意見が出てまいりましたが、今の意見を参考にして、今後の視察先と日程の調整については委員長に御一任いただけますでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

濱田洋一委員

これまで、常任委員会におきましては、委員会で決定された事項について、視察先を決定して行きよったわけですけれども、もし行政側がですね、よろしければ、担当課の担当職員でもですね。

〔発言する者あり〕

いけないんですか。

〔発言する者あり〕

ごめんなさい、これは取り消します。ごめんなさい。

〔発言する者あり〕

竹原信一委員

今、山田議員も観光客を増やすという話と、それから、客単価を非常に高いものに設定できる状態にするというのは、実は逆方向なんですよね。客は少なくともいいから単価を上げて、質の高い観光にするという。方向が逆なんですけども。だから、2か所行くとしたら、両方見てもいいのかなと。

高崎良二委員長

若干高いけど。

竹原信一委員

高い上で、質の高いその在り方というのは、むしろ、脇本海岸のほうはそっこのほうを目指すべきじゃないかと。そのことによって、NPO法人の人たちはもう反発がなくなるどころか協力を得やすい状況になると思いますよ。

高崎良二委員長

質の高いってところで、例えば、そのお金が、1人単価が高いのを目指すのと、あと、やっぱり、そのほら、参加した人たちが、例えばごみ拾いとかそういうことを、やったりして、それは単価が高くなる。

〔竹原信一委員「そもそもごみを落ちてないところをつくらないかんわけで」と呼ぶ〕

そういった何ていうか、心の質の高さと、どこを目指すかっていうのをば。

〔竹原信一委員「心が豊かになるような場所をつくる」と呼ぶ〕

そういったことも入れて。

〔竹原信一委員「金もうけに走ったらだめ」と呼ぶ〕

仮屋園一徳委員

今さっき、自然を生かした観光というのが出てきたけど、視察に行く中で、行ったところ、やっぱり自然を生かしてあるかどうか、その辺も、この四つのうちの五つ目ぐらいに入れて、そういった目で見てくればそれは1番大事なことかなと。下村海岸についても、自然を壊した観光をしても何にもならない。やっぱりそれを生かした形でどういった観光にするかという。

〔発言する者あり〕

〔山田勝委員「下村海岸のね、堤防から下んほうはね、どげんもでけんたっでや。あひこをばどげんかすって、でけんわけよね」と呼ぶ〕

〔発言する者あり〕

高崎良二委員長

休憩に入ったほうがよかな。

〔竹原信一委員「生かすというのは、それが、活用して儲ける話じゃなくて、それが発展していくという感じの生かすですよね」と呼ぶ〕

よろしいですか。

今の御意見を踏まえながら、先進地視察の視察先と場所などを、取決めをしていきたいと思いますが、そこは委員長に御一任でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

もうこれで終わり。

ほかに何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、本日の予定した事項は以上で、次の委員会の開催時期については委員長に御一任お願いします。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

視察先が決定次第、視察先に対する具体的な質問事項協議を行うこととします。

なお、視察の日程については、議会の予定を優先的に考慮し、調整しますので、御了承くださるようお願いいたします。

以上で本日の委員会を散会いたします。

(散会 午前10時55分)

産業厚生委員会委員長 高 崎 良 二